

牧山市民センター 市民普及啓発講演会 報告書

講演テーマ「在宅医療」について

○在宅医療が注目される背景について 戸畑在宅医療・介護連携支援センター

○『在宅医療の今とこれから』 講師：医療法人 藤誠会 後藤クリニック 院長 後藤誠一先生

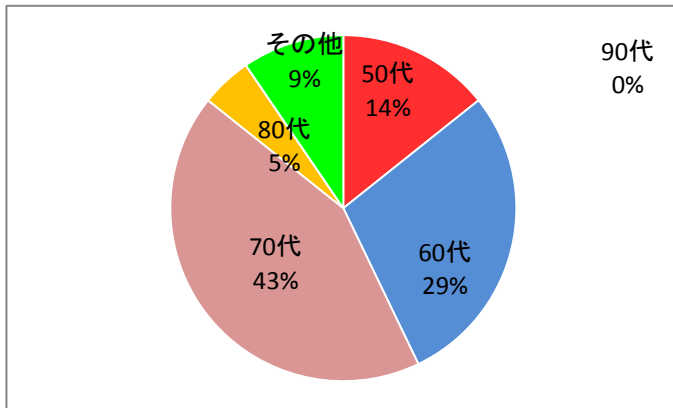
◆日時：平成30年3月12日（火） 19:00～21:00

◆場所：牧山市民センター

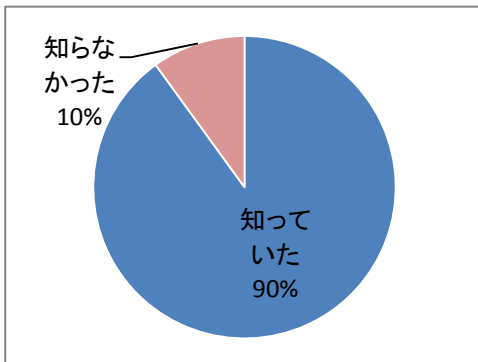
◆参加者：44名（高齢者34名、講師1名、行政7名、連携支援センター2名）

アンケート回収率 49%（n = 21）

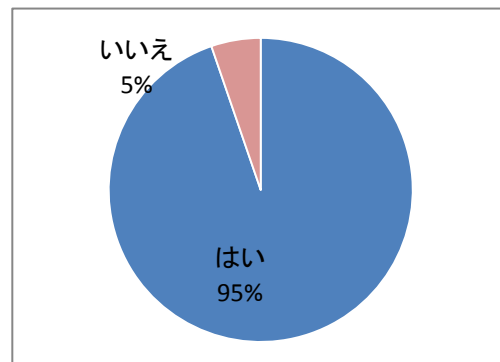
1、参加者の年代



2、「在宅医療」を知っていたか



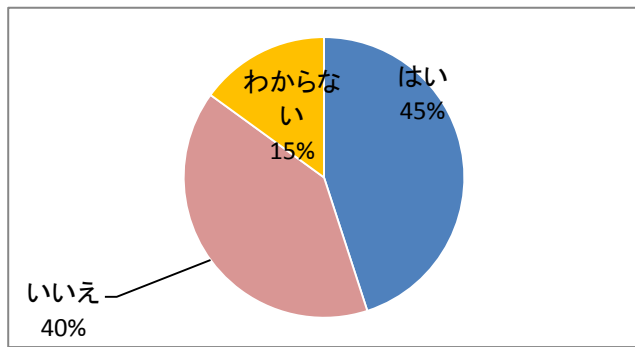
3、講演を聞いて、在宅医療に興味を持ったか



4、印象に残ったことは？

- ・戸畑の高齢化がすごい。だからこそ、今後の医療や介護について事前に考えなければいけない。
- ・アドバンスケアプランニングを知りました。家族で話し合いたいと思いました。
- ・自分の死まで色々な人達に世話になるのだなあと感じました。
- ・在宅も含め、私の残された人生、より良い老後になるような選択肢があることが分かります。
- ・色々なサービスがあること。自分がその立場になった時の参考にしたい。
- ・どの内容も勉強になりました。医療経済的側面から在宅医療が見直されたことが、少し納得がいけない面もあるけれど、支える側が減っていく以上、考えていかざるを得ないのではと思います。
- ・団塊の世代の真ただ中にいると思うと、少しでも健康に気を付けて、社会のおじゃまにならないようにありたい…と思う。
- ・安心して生活できるようなシステムになっていること。在宅医療を詳しく学んだこと。
- ・牧山地区の高齢化・日本の福祉が恵まれていること。
- ・重度の症状でも在宅医療が出来ること。痛みのケアを出来ることに感銘しました。
- ・安心しました。在宅医療への壁がなくなりました。

5、今後在宅医療を受けようと思うか？



はい

- ・住み慣れた家で自分らしく人生を終えたい。介護してくれる人がたとえいなくても、自宅で過ごしたい。
- ・やっぱり家族に看取られて最期を迎えたいから。
- ・人生の終わりまで子や孫と共に活動できる限り
- ・出来る限り家族、近隣、地域の皆とのつながりを持ちたい。
- ・ACP。意思決定の支援があること。
- ・家族がいるから。
- ・今、独居だから。
- ・子供たちと自宅で…

いいえ

- ・すみません。家族に迷惑をかけたくないので。顔色をうかがいながら家にいたくないので。
- ・一人住まいなので分かりません。
- ・希望は在宅でも、現実には家族の負担等を考えると難しいと思う。
- ・今現在一人暮らし。子供も二人いるが、遠方に住んでいる為。
- ・現実的に無理。子供も近くにいないし、迷惑をかけたくないので。
- ・老々介護になった時に相手に負担を与えてしまうかとも思い。
- ・システムを知り、安心しました。
- ・健康に気を付けて頑張りたい。

わからない

- ・その時の状況で変わってくるような気がします。在宅医療について再度勉強(検討)し、考えたいと思います。
- ・まだ昔の考えで病院と思っていましたので、今のところ分かりません。
- ・家族に迷惑をかけたくない。